

平成16年度の助役日程（実務）

単位：回

月	庁内会議	村内外団体 総会等	研修・ 講演等	計
4月	13	9	1	23
5月	9	12	1	22
6月	13	11	4	28
7月	14	18	3	35
8月	12	11	5	28
9月	28	8	1	37
10月	16	7	4	27
11月	15	12	12	39
12月	17	4	1	22
1月	20	10	3	33
2月	20	16	3	39
3月	16	3	2	21
合計	193	121	40	354
月平均	16	10	3	29

※同日に複数の用務があるため延べ回数とする



Q 助役の選任が必要では

A 必要性や問題点を検証

鎌田 裕 議員（しののめ会）

Q1 第5次総合計画の達成は、地域住民との協働の推進が絶対条件であり、産業振興と雇用の場の確保、企業誘致など村長には多彩な活動が重要責務であります。

村長には村長としての執務があり、助役には助役としての役割があり、部長が

村長、助役に代わって執行する仕事は限定されています。行政執行にあたってはそれぞれの職務範囲を全うすることが重要であります。

村長に不測の事態が発生した場合の業務遂行上の支障を考えると、助役の必要性を痛感します。地方自治法の定めに基づき早急に助役の選任を行うことについて、いかに考えているか伺います。

A1 17年4月以降の助役空席において、村長が不在のとき、対外的会議や地域住民がかかわる会議等は、教育長や各部長が代理出席しております。助役辞任後3カ月ほどで

あり、住民の声など外部からの評価が把握できません。助役の空席に伴う対外的な影響、住民に対する影響、内部業務での問題点などさまざまな角度から今しばらく検証していきたくと考えています。

Q2 盛岡西リサーチパークへの企業誘致を最重要課題として活動に努めてきたが、自主財源確保のうえからも

一般企業誘致にも力を入れる必要があります。土地利用計画も併せ産業構造の根本的見直しも必要と考えますが、誘致運動の考えを伺います。

A2 用地完備がされており即効性のある盛岡西リサーチパークへの誘致活動を関係機関と共に取り組んで来ましたが、現在、3社ほどの企業から移転意向の話が進んでいます。

不況下にあつて誘致競争が激しく、生産基盤とともに優遇措置も重要な要素となつており、企業の期待に充分応えるよう努めながら活動を展開していきます。

岩手大学や県立大学と連携を深め「産学官連携の強化による既存企業の高度化支援」「研究開発型のベンチャー育成」を積極的に進めます。今後、第5次総合計画や商工会が策定した工業振興ビジョンとの整合を図りながら、工業振興の実現化方策と、土地利用上の工業系地域の設定について検討してまいります。